



2024年2月28日

各位

会社名 日産証券グループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 二家 英 彰  
(コード番号 8705 東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役 近藤 竜 夫  
役職・氏名 マネジメント本部長  
電 話 03-6759-8705

## 配当方針の変更及び期末配当予想（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更及び未定としておりました2024年3月期の期末配当予想について、下記の通りとすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当方針の変更

##### (1) 変更理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、安定した配当を継続的に行っていくことを基本方針としております。

今般、当社グループの企業価値向上に資する資本・財務戦略の一環、さらなる株主還元策のさらなる充実を図るため、下記の通り配当方針を変更することといたしました。

##### (2) 変更の内容

変更前	変更後
<p>当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、<u>安定した配当を継続的に行っていくことを基本方針としております。</u></p> <p>内部留保につきましては、長期的な展望に基づき、財務基盤の強化や成長分野への資金配分など、企業価値を高めるための投資に有効活用してまいります。</p> <p>また、自己株式の取得につきましては、資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために、適切に実施してまいります所存です。</p> <p>当社は、会社法第459条の規定に基づき、取締役会の決議によって剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めております。</p>	<p>当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、<u>株主価値の最大化、資本効率の向上を意識しつつバランスの取れた配当の実施を基本方針といたします。</u></p> <p><u>この考え方に基づき、自己株式取得を含めた連結ベースでの配当性向（総還元性向）を60%以上に定めるとともに、剰余金は期末配当の年1回もしくは中間配当を含めた年2回の配当を実施することといたします。</u></p> <p>内部留保につきましては、長期的な展望に基づき、財務基盤の強化や成長分野への資金配分など、企業価値を高めるための投資に有効活用してまいります。</p> <p>また、自己株式の取得につきましては、資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために、適切に実施してまいります所存です。</p> <p>当社は、会社法第459条の規定に基づき、取締役会の決議によって剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めております。</p>

(注) 下線部が変更箇所となります。

## 2. 配当予想（増配）の修正

### （1）配当予想の内容

基準日	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年2月9日発表)		未定	未定
今回予想		6円50銭	7円50銭
当期実績	1円00銭		
前期実績 (2023年3月期)	0円50銭	3円00銭	3円50銭

### （2）配当予想の理由

2024年3月期の期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、当期の当社グループ業績が好調に推移していること、株主価値の最大化を目指すこと、資本コストを意識しつつ資本効率を高めるということ等を総合的に勘案し、1株当たり6円50銭とすることを決定いたしました。

以 上